



WebFOCUS リリースノート（アシスト追補版）

Version 9.2.3

本リリースノート（アシスト追補版）では、『WebFOCUS リリースノート Version9.2.3』を補完する情報と注意点を記載しています。WebFOCUS Version 9.2.3 をインストールの前に必ずご一読ください。

トピック

- WebFOCUS リリースノートについて
- メンテナンスリリース 9.2.3 で修正された問題
- メンテナンスリリース 9.2.3 で新規に発生する問題
- 以前のバージョンからの Resource Analyzer リポジトリの移行について（WFTEST-5906）

WebFOCUS リリースノートについて

『WebFOCUS リリースノート Version9.2.3』には、利用される環境によって必要な設定および注意点が記載されています。WebFOCUS をご利用の前に必ずご一読ください。

リリースノートは、WebFOCUS Knowledge base サイトからダウンロードしていただくことができます。WebFOCUS Knowledge base へのアカウント登録が必要です。アカウントをお持ちでない場合は、下記 URL 上に表示される「WebFOCUS Knowledge base とは？」のリンクからアカウントの申し込みを行ってください。

<https://wfp.ashisuto.co.jp/service/>

WebFOCUS Version 9.2.3 で修正された問題

WebFOCUS Version 9.2.3 では、新たに以下の問題が修正されました。

管理番号	コンポーネント	内容
WFTEST-5923	Designer	Designer ページのフィルタコントロールがダブルリストボックスの場合、初期値を設定すると実行時にフリーズします。
WFTEST-5899	Designer	ポータルをトップサイドナビゲーションで作成したときサイドメニューに枠線が表示されます。
WFTEST-5891	Resource Analyzer	V920 または V921 から V922 に更新インストールを実施すると ResourceAnalyzer リポジトリのマイグレーションが発生し、処理を実行すると失敗します
WFTEST-5851	Designer	Designer 起動時、ACCEPT 属性を含むデータソースを選択し、フィルタに追加して[データから値をロード]すると、「unknown errorUnknown type of ACCEPT」のエラーが発生して、Designer が操作できなくなります。
WFTEST-5758	App Studio	レポートキャンバスにて、Excel テンプレート使用時にレポートの「ターゲット」を「ファイルの保存」に設定すると、レポートキャンバスで開きなおした際に Excel テンプレートの記述がソースから削除されます
WFTEST-5717	BI Portal	コラボレーションポータルの編集画面で HTML ファイルを配置し、動的スタイルを設定すると存在しないスタイルシートが設定され、再度編集時にエラー（指定されたリソースを追加できません - IBFS:/FILE/IBI_HTML_DIR/javaassist/intl/JA/combine_templates/JAwarm.sty）が表示されます
WFTEST-5621	Reporting Server	デフォルト実行の際に dfm_maxoutput で設定した値を超えると処理が終了しますが、デフォルトレポートステ

		ータスは「実行中」のまま残り続けます。
WFTEST-5369	QuickData	QuickData にて既存レポートを編集する際、指定した接続先ではなく、localhost に接続されます。
WFTEST-2291	Web サービス	App Studio で作成した HTML を REST 経由で実行できません

メンテナンスリリース 9.2.3 で新規に発生する問題

メンテナンスリリース 9.2.3 では、新規に発生する問題はありません。

WebFOCUS をご使用にあたっての非互換、不具合の詳細な情報は、AWSC-2（Ashisuto Web Support Center-2※）の WebFOCUS 不具合・非互換一覧 バージョン 9（FAQ 番号：60195）をご確認ください。
<https://ashisuto.my.site.com/awsc2>

※AWSC-2 のログインにはサポート ID が必要となります。

以前のバージョンからの Resource Analyzer リポジトリの移行について（WFTEST-5906）

WebFOCUS V9.2.2 以降、Resource Analyzer を新規に構成した場合の内部リポジトリのテーブル名が変更されました。（テーブル名末尾が「_8207」から「_9200」に変更されました）

＜V8.2.07～V9.2.1 のリポジトリテーブル名＞	＜V9.2.2 以降のリポジトリテーブル名＞
SMAUDIT_8207	SMAUDIT_9200
SMCOLUMNS_8207	SMCOLUMNS_9200
SMFROMS_8207	SMFROMS_9200
SMFUNCTIONS_8207	SMFUNCTIONS_9200
SMGOVERN_8207	SMGOVERN_9200
SMQUERY_8207	SMQUERY_9200
SMRELATIONS_8207	SMRELATIONS_9200
SMREMOTES_8207	SMREMOTES_9200
SMREQUESTS_8207	SMREQUESTS_9200
SMRPCREQUESTS_8207	SMRPCREQUESTS_9200
SMRPCS_8207	SMRPCS_9200
SMRPCWF_8207	SMRPCWF_9200
SMSERVERS_8207	SMSERVERS_9200
SMSESSIONS_8207	SMSESSIONS_9200

WebFOCUS のバージョンアップにおいて、V9.2.2 以降のバージョンの新規インストールを行い、以前のバージョン（V8.2.07～V9.2.1）で構成済みの Resource Analyzer リポジトリを移行する場合、以下の手順で対応してください。

以前のバージョンから Resource Analyzer リポジトリの移行を行わない場合は、対応の必要はありません。

また、以前のバージョンから更新インストールを行った場合は、Resource Analyzer のリポジトリテーブルは以前に構成されたテーブル名が使用されるため、対応は不要です。

【事前確認】

- 移行元環境（V8.2.07～V9.2.1）と移行先環境（V9.2.2 以降）の Reporting Server のコードページは、同じである必要があります。
- 移行元環境（V8.2.07～V9.2.1）と移行先環境（V9.2.2 以降）の Resource Analyzer 構成で使用するアダプタのタイプ/バージョン、接続名は、同じである必要があります。

【手順】

1. 移行元環境と移行先環境の Reporting Server のサービスを停止します。
2. 移行元環境の<drive>:¥ibi¥srv92¥wfs¥catalog¥rm フォルダをコピーし、バックアップを取得します。
3. 移行先環境の<drive>:¥ibi¥srv92¥wfs¥catalog¥rm 配下に、2.で取得したバックアップから rm フォルダ配下のファイルをコピーします。
4. 移行先環境の Reporting Server のサービスを起動します。
5. Web コンソールにアクセスします。ブラウザを起動し、次の URL にアクセスします。
http://hostname:port/
説明：
hostname
WebFOCUS Reporting Server を実行しているマシンのホスト名または IP アドレスです。
port
インストール時に指定した HTTP ポートです。デフォルトは 8121 です。
6. 画面上部のツールメニューから[リソース管理]を選択し、リソース管理画面で以前のリリースで蓄積された利用ログを表示できることを確認します。

以上